



平成30年 5 月 17 日

岩倉市議会

議長 黒川 武 様

会派名 公明党

代表者名 鬼頭 博和

平成30年度 第1回市町村議会議員特別セミナー 報告書

このことについて、下記のとおり実施しましたので報告いたします。

記

- 1 実施日 平成30年4月12日（木）～13日（金）
- 2 研修先 全国市町村国際文化研修所
- 3 出席人数及び氏名

1名	鬼頭 博和	

- 4 復命事項

別紙のとおり

# 公明党会派議員研修報告書

## 平成30年度 第1回市町村議会議員特別セミナー

- 日 程 平成30年4月12日(木)～13日(金)  
4月12日 13:00～16:20  
4月13日 9:00～12:20
- 場 所 全国市町村国際文化研修所  
滋賀県大津市唐崎2丁目13番1 TEL(077-578-5931)
- 参加者 鬼頭 博和

### ■内 容

#### 「講義1 豊岡市の観光戦略」

講師:兵庫県豊岡市長 中貝 宗治

#### 【概要】

- ・地方創生について、人口減少対策が重要であると考えられ、高校卒業後の若年層の人口減少を少しでも緩和するため、「地方で暮らす価値」の創造に努めてこられた。城崎温泉の再生で世界に通用する「ローカル」を磨き世界都市の仲間入りを果たしている。
- ・インバウンドに力を入れ、市に情報戦略係を設置し、世界に情報発信を行う。また、市が所有する大会議場を国際アートセンターに改造し、芸術、演劇、ダンスなどに利用できる滞在型の施設となったことで世界各国から、有名な芸術家が訪れるようになり、外国人観光客は、この6年間で40倍となった。城崎温泉では、かつて繁忙期と閑散期の差が大きく悩みの種であったが、現在では閑散期に外国人観光客が訪れることで、この差が最近ではなくなってきた。
- ・コウノトリの野生復帰への取り組みが、自然環境を改善させ、様々な分野に広がることで、経済効果を高める結果となった。
- ・次世代育成にも力を入れ、小中学生には、野外活動を通じてこのとり野生復帰を未来に継承していける人材を育成すると同時にふるさと教育も行っている。

#### 【所感】

中貝氏は、市長就任以来、徹底した観光戦略に取り組み着実に結果を出してきていることに大変驚きました。またコウノトリの野生復帰に向けた、環境創造型農業や生息地の保全にも力を入れることで、経済効果を高め街の活性化を推進している。岩倉市では五条川的环境向上や健康(幸)都市の取り組みを進めることで、岩倉市独自の観光戦略が推進できるのではないかと感じた。

## 「講義 2 観光立国と地方創生～インバウンドが切り拓く地域の未来～」

講師：一般社団法人 日本インバウンド連合会理事長 中村 好明

### 【概要】

・最初にオーストラリアへ旅行に行った時の、お話をされました。とにかく物価が高いことを強調されました。日本の物価の3倍になっているということで、日本だけがこの何十年もの間、経済成長が止まっていると言われていました。欧米も同様に物価が上がっており、世界の先進国の中では日本だけが取り残されている状況であることを指摘されておられました。

・観光立国である、オーストラリアを取り上げられ、人々の生活や文化のクオリティーの上昇こそ観光立国の証であると、訴えられていました。

・公共哲学について、工業デザイナーの水戸岡鋭治氏の言葉である、米仕事(自分・自社の稼ぐための仕事)と花仕事(地域社会のための公共への奉仕・貢献)を用いて、各地域のインバウンドの成功のカギは、この2つの仕事を同時並行的に行うことが不可欠であることを強調されました。特に花仕事の重要性については、インバウンドに欠かすことのできない考え方で、飲食、物販、宿泊施設、観光拠点、そして行政や観光協会などの公共セクター、これらすべての担い手が有機的に連携して世界に情報発信し、外国客をおもてなししなければならない。これらの関係者の人たちを、連携させ官民の壁を越えて統合し、一体感のある地域を創造できる人材が必要であり、それは、まさに議員の役割であると思いました。

・観光立国とは、わが町を知ることであり、地域自らの固有のライフスタイルを再発見し、蘇らせ、生活を高め、稼ぐ力をつけることだ。

### 【所感】

インバウンドの重要性について、様々な角度から教えて頂きました。国内人口が今後減少する中で、国際交流人口は、努力次第で増加させることができるようです。地方創生には欠かせない考え方であり、いかにして地域のファンを国内外につくっていくかが重要なポイントとなります。リピーターを増やすことも重要で、今後は岩倉市でも、民泊を利用した宿泊者の増加に力を入れてはどうかと思いました。最後にふるさと納税の新しい活用方法の紹介がありました。使い道を選び、資金を地域で有効活用できるように、事業の趣旨や内容を明確化していくことも必要であると思いました。岩倉市でもぜひ取り組んでいきたい制度です。

## 「講義 3 観光・地域振興のあり方を考える～観光は地域を元気にできるか～」

講師：立教大学観光学部教授 観光研究所所長 東 徹

・初めに、観光資源と観光対象についての違いのお話がありました。

もともと観光とは関係のないと思っていたものが、観光対象になりうる時代になってきた。新しい観光形態、多様な観光対象・テーマは、地域に眠っている。具体例として、エコツーリズム、農村観光、生活文化観光、ヘルス・ツーリズム、医療観光、産業観光、ジオ・パーク、シーニックバイウェイ(「みち」)をきっかけに、地域と行政が連携し、景観をはじめとした地域資源の保全・改善の

取組を進めることにより、美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくり、活力ある地域づくりを目指す活動)など様々である。

・グローバル化していく世界の中で、いかにローカルの独自性を守り、訴求していくかがポイントとなる。これまでの、経済発展優先の開発優先主義から、環境保全重視の持続可能な発展へ、官主導から、民主導または官民協調へと価値観が変化する中で、いかにして「観光まちづくり」行うことができるのかを考えなければならない。

・観光まちづくりの3つのポイント

内発的まちづくり: 地元の企業や住民等が自ら主体性をもって参画し、相互に学習し、啓発しあい、合意を得ながら進める自律的な取り組みとしてのまちづくり。

持続可能な資源利用: 地域の暮らしを支える恵みであり、地域独特の持ち味を生み出す自然環境や歴史的・文化的ストックを大切に守り、生かしていくという考え方・取り組み。

「住んでよし、訪れてよし」のまちづくり: 「観光まちづくり」は、観光集客を第一に考えた地域振興ではなく、人々が集い、ふれあうことで、活気あふれるまちをつくること。観光客も住民もともに楽しめる居心地の良いまちをつくることが重要である。

## 【所感】

観光に対する新しい見方を学ぶことができました。「観光まちづくり」の視点は、大変重要であると思いました。住民自らが地域を見つめ直し、望ましいと考える地域像、誇れる地域像について語り合い、共有をめざしながら、課題に向き合い、ともに行動することで、地域の元気を取り戻し、地域に対する誇り・愛着を深めることができるはずです。それによって、観光、地域振興が進んでいくことを学ばせて頂きました。議員として住民が主体的に取り組める「まちづくり」に貢献していきたいと思います。

## 「講義4 京菓子老舗女将のとおきのお話」

講師: 笹屋伊織 女将 京都観光おもてなし大使 田丸 みゆき

・最初は、エピソードを通して京都人のおもてなしの心について、お話がありました。

京都の人は、知人などから贈り物をいただいた時には、必ず3回は、お断りをするそうです。すんなりと贈り物を頂いてしまえば、お客様は、すぐに帰られてしまいます。3回断ることで、相手と話をする機会が持て、感謝の気持ちをより多く伝えることができる。ということだそうです。

次に、京菓子の伝統については、古くから神社仏閣のお祭りや供養に使われたこと、また皇室を中心とした公家社会の贈答や、儀式に用いられ、1200年という長い歴史があることを教えていただきました。原材料(丹波大納言小豆、近江米、阿波の和三盆糖、吉野葛、寒天など)の多くが、近畿地方で多く生産されていたことなども、長く伝統が引き継がれた要因と考えられるそうです。

・京菓子の魅力についても、様々な語っていただきました。五感の芸術ということで、視覚では、色や形を目で楽しむこと。臭覚では、香りを楽しむこと。桜餅に代表されるような移り香を楽しむ、奥ゆかしい日本の文化。感覚では、歯ざわり、舌ざわりを楽しむこと。味覚はもちろんのことですが、

聴覚では、銘菓を聞いて楽しむ。和歌や俳句などに歌われたもの。など人間の五感全てを楽しませてくれるものだそうです。

### 【所感】

最後に、おもてなしについて、お客様に対する姿勢を通して、さまざまな角度からお話をして頂きました。職人さんを通しての次のようなエピソードには、大変感動しました。

「東京に住んでいる京都出身のお客様から、結婚式の引き出物に京菓子を出したいということで、結婚式の前日に届けてほしいという、希望を叶えるため、職人さんに嘘をついて賞味期限が製造後1日の所を、味が落ちても構わないので、2日目に届けることにしたところ、送る直前になって嘘がバレてしまい、全て作り直して当日の朝送り届けたところ、かえってお客様に大変喜ばれた。」という内容のお話です。

職人さんのお菓子作りに対する妥協しない心構えは、本当の意味でお客様第一主義であり、お客様の言いなりになる事は、本当にお客様のことを考えた行動になるとは限らないということです。お客様にとって、何が大事なことなのかをしっかりと考えることの重要性を教えていただきました。

この話は、議員に当てはめて考えれば、市民の希望をそのまま受けいれてしまうのではなく、市民にとって本当に必要な政策は何であるのかを、しっかり考えていくことが最も重要であるということに通じると思いました。

今回の研修は、観光をテーマに4人の講師の方から、大変参考になるお話を聞かせていただきました。今後の議員活動にしっかり活かしていけるよう頑張ります。